

土地改良区広報

美郷町千畑土地改良区
 第31号(復刊第20号)
 編集・発行
 美郷町千畑土地改良区
 電話 (85) 2218番
 F A X (85) 3878番

水土里ネット千畑

検索



泥上げ



水環境学習会



大畑地区の工事



モミガラ補助暗渠



花の植栽



湧水地の清掃



一斉草刈り

ご挨拶

理事長 佐藤辰雄

盛夏の候、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、当土地改良区の業務や事業の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

今年も昨年同様の大雪に始まり、4月の強風被害など自然災害が続き、発して春作業が遅れが出るかと心配していましたが、田植えもほぼ例年通りに進み、田植え後の好天により、初期生育は良好のようです。

さて、当土地改良区の今年度の事業ですが、基盤整備事業は本堂城回地区、羽貫谷地区は面工事が完了し暗渠工事等、大畑地区は面工事が行われ今年度で完了することとなっております。昨年度、土崎小荒川地区で実施されたモミガラ補助暗渠単独施工型が今年度も実施されますので実施希望の方は土地改良区までご連絡ください。

また広報でも紹介しておりますが国の新規事業として農業体質強化基盤整備促進事業が創設されております。この事業は農地区画の拡大や暗渠管設置といった農地整備を行う事業となっております。こちらも土地改良区までご連絡ください。

また、農地・水保全管理支払交付金が今年度からも実施されており千畑地区につきましては全集落を一本化し一組織として活動しております。土地改良区としましては事務の負担が少しでも軽減できるようにお手伝いをさせて頂いております。このような様々な事業を実施できるのは、組合員の皆様方のご理解ご協力の賜と存じ上げます。今後も組合員の皆様のお役にたてるよう一層の努力をさせていただきますのでご支援、ご協力をお願い申し上げます。

財務に関する公表(規約第46条) 決算は平成23年8月7日臨時総代会、予算は平成24年3月18日通常総代会議決

平成22年度 一般会計収支決算書

【収入の部】				【支出の部】				(単位：円)	
款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 組合費	78,125,085	78,848,000		722,915	1. 事務費	64,241,159	70,975,000		6,733,841
經常賦課金	38,537,910	38,398,000	139,910		事務費	18,592,979	24,611,000		6,018,021
償還賦課金	39,587,175	40,450,000		862,825	役員会議費	459,180	610,000		150,820
2. 補助金	3,475,921	5,168,000		1,692,079	総代会議費	1,030,000	1,595,000		565,000
事業費補助金	3,475,921	5,167,000		1,691,079	換地事務費(本堂城回)	24,105,000	24,105,000		0
事務費補助金	0	1,000		1,000	換地事務費(羽貫谷地)	12,730,000	12,730,000		0
3. 受託金	44,158,500	44,159,000		500	換地事務費(大畑)	5,297,000	5,297,000		0
4. 財産収入	0	2,000		2,000	現地調整業務(本堂城回)	1,397,000	1,397,000		0
5. 寄付金	0	1,000		1,000	現地調整業務(羽貫谷地)	630,000	630,000		0
6. 繰入金	29,617,000	44,617,000		15,000,000	2. 選挙費	243,210	439,000		195,790
7. 繰越金	11,400,173	11,401,000		827	3. 維持管理費	1,444,494	2,891,000		1,446,506
8. 諸収入	608,118	1,406,000		797,882	4. 事業費	78,347,396	82,923,000		4,575,604
過怠金利息等	416,118	1,236,000		819,882	土地利用調整推進事業(体堂城回)	700,000	1,500,000		800,000
滞納処分費	0	2,000		2,000	土地利用調整推進事業(羽貫谷地)	1,000,000	1,000,000		0
雑入	192,000	168,000	24,000		土地利用調整推進事業(大畑)	120,000	1,000,000		880,000
9. 過年度収入	2,478,400	3,115,000		636,600	事業推進費	823,095	1,083,000		259,905
經常賦課金	491,548	743,000		251,452	分担金	75,704,301	78,340,000		2,635,699
償還賦課金	1,983,236	2,017,000		33,764	5. 区債及び借入金	46,741,154	46,767,000		25,846
その他賦課金	3,616	355,000		351,384	6. 事業負担金	2,067,357	2,068,000		643
10. 政策公庫資金	75,704,301	78,340,000		2,635,699	7. 諸支出金	44,412,182	60,259,000		15,846,818
11. 収益徴収金	143,911	144,000		89	徴収費	97,282	151,000		53,718
12. 清算徴収金	0	1,000		1,000	退職給与積立金	2,745,000	2,745,000		0
					財調積立運用金	33,000,000	48,000,000		15,000,000
					退任慰労金積立金	441,000	441,000		0
					災害復旧積立金	6,917,000	6,917,000		0
					雑支出金	1,211,900	2,005,000		793,100
					8. 損失交付金	143,911	144,000		89
					9. 清算交付金	0	1,000		1,000
					10. 予備費	0	735,000		735,000
収入合計	245,711,409	267,202,000		21,490,591	支出合計	237,640,863	267,202,000		29,561,137

※収入合計245,711,409円、支出合計237,640,863円、差引残金8,070,546円は次年度一般会計に繰越する。

平成22年度 償還積立特別会計収支決算書

【収入の部】				【支出の部】				(単位：円)	
款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 積立金	25,399,051	40,400,000		15,000,949	1. 繰出金	29,617,000	44,617,000		15,000,000
2. 繰越金	46,379,326	46,380,000		674	2. 繰上償還金	0	2,000		2,000
3. 雑収入	0	1,000		1,000	3. 積立金	0	42,161,000		42,161,000
					4. 予備費	0	1,000		1,000
収入合計	71,778,377	86,781,000		15,002,623	支出合計	29,617,000	86,781,000		57,164,000

※収入合計71,778,377円、支出合計29,617,000円、差引残金42,161,377円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 職員退職給与特別会計収支決算書

【収入の部】				【支出の部】				(単位：円)	
款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 繰入金	2,745,000	2,745,000		0	1. 退職給与金	0	1,000		1,000
2. 繰越金	7,645,452	7,665,000		19,548	2. 予備費	0	10,410,000		10,410,000
3. 雑収入	0	1,000		1,000					
収入合計	10,390,452	10,411,000		20,548	支出合計	0	10,411,000		10,411,000

※収入合計10,390,452円、支出合計0円、差引残金10,390,452円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 財政調整基金積立特別会計収支決算書

【収入の部】				【支出の部】				(単位：円)	
款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 繰入金	8,000,000	8,000,000		0	1. 繰出金	0	1,000		1,000
2. 繰越金	19,748,267	19,754,000		5,733	2. 予備費	0	27,759,000		27,759,000
3. 雑収入	3,353	6,000		2,647					
収入合計	27,751,620	27,760,000		8,380	支出合計	0	27,760,000		27,760,000

※収入合計27,751,620円、支出合計0円、差引残金27,751,620円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 役員退任慰労金積立特別会計収支決算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位:円)

Table with 8 columns: 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減), 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減). Rows include 繰入金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計.

※収入合計1,692,126円、支出合計480,000円、差引残金1,212,126円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 決済金積立特別会計収支決算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位:円)

Table with 8 columns: 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減), 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計.

※収入合計484,417円、支出合計0円、差引残金484,417円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 他目的使用積立特別会計収支決算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位:円)

Table with 8 columns: 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減), 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計.

※収入合計7,586円、支出合計0円、差引残金7,586円は次年度この特別会計に繰越する。

平成22年度 維持管理・災害復旧積立金特別会計収支決算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位:円)

Table with 8 columns: 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減), 款項目, 本年度決算額, 本年度予算額, 比較 (増/減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計.

※収入合計6,917,000円、支出合計0円、差引残金6,917,000円は次年度この特別会計に繰越する。

財 産 目 録

平成23年5月31日 現在 (単位:円)

Table with 6 columns: 摘要, 金額, 備考, 摘要, 金額, 備考. Divided into 資産の部 and 負債の部. Includes items like 流動資産, 固定資産, 長期負債, etc.

平成24年度 一般会計収支予算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位：千円)

款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 組合費	77,269	78,794		1,525	1. 事務費	53,514	60,362		6,848
經常賦課金	38,481	38,407	74		事務費	34,111	33,626	485	
償還賦課金	38,788	40,387		1,599	役員会議費	521	545		24
2. 補助金	5,719	7,768		2,049	総代会議費	1,065	1,085		20
事業費補助金	5,718	7,767		2,049	換地事務費(本堂)	2,880	7,306		4,426
事務費補助金	1	1		0	換地事務費(羽貫谷地)	1,062	4,664		3,602
3. 受託金	17,817	25,106		7,289	換地事務費(大畑)	6,075	10,769		4,694
4. 財産収入	2	2		0	現地調整業務(本堂城回)	800	992		192
5. 寄付金	1	1		0	現地調整業務(羽貫谷地)	1,000	496	504	
6. 繰入金	44,673	44,705		32	現地調整業務(大畑)	1,000	727	273	
7. 繰越金	3,802	8,071		4,269	農地・水事務委託費	5,000	0	5,000	
8. 諸収入	1,501	1,357	144		2. 選挙費	4	4		0
過怠金利息等	1,415	1,163	252		3. 維持管理費	2,894	2,891	3	
滞納処分費	2	2		0	4. 事業費	96,986	89,054	7,932	
雑入	84	192		108	土地利用調整推進事業(本堂)	800	1,500		700
9. 過年度収入	2,881	2,669	212		土地利用調整推進事業(羽貫谷地)	1,000	1,000		0
經常賦課金	892	743	149		土地利用調整推進事業(大畑)	1,000	1,000		0
償還賦課金	1,635	1,572	63		事業推進費	1,050	1,050		0
その他賦課金	354	354		0	分担金	91,000	81,970	9,030	
10. 政策公庫資金	91,000	81,970	9,030		物件別生産拡大緊急基金整備事業	2,136	2,534		398
11. 収益徴収金	346	243	103		5. 区債及借入金	45,276	46,808		1,532
12. 清算徴収金	1	1		0	6. 事業負担金	2,105	2,075	30	
					7. 諸支出金	42,852	45,895		3,043
					徴収費	151	151		0
					退職給与積立金	473	473		0
					財調積立運用金	40,000	43,000		3,000
					退任慰労金積立	222	222		0
					災害復旧積立金	1	1		0
					雑支出金	2,005	2,048		43
					8. 損失交付金	346	243	103	
					9. 清算交付金	1	1		0
					10. 予備費	1,034	3,354		2,320
収入合計	245,012	250,687		5,675	支出合計	245,012	250,687		5,675

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 償還積立特別会計収支予算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位：千円)

款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 積立金	30,000	30,002		2	1. 繰出金	34,673	34,705		32
2. 繰越金	37,458	42,162		4,704	2. 繰上償還金	2	2		0
3. 雑収入	1	1		0	3. 積立金	32,783	37,457		4,674
					4. 予備費	1	1		0
収入合計	67,459	72,165		4,706	支出合計	67,459	72,165		4,706

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 職員退職給与特別会計収支予算書

【収入の部】

【支出の部】

(単位：千円)

款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		款 項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	
			増	減				増	減
1. 繰入金	473	473		0	1. 退職給与金	1	227		226
2. 繰越金	10,637	10,391	246		2. 予備費	11,110	10,638	472	
3. 雑収入	1	1		0					0
収入合計	11,111	10,865	246		支出合計	11,111	10,865	246	

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 財政調整基金積立特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 繰入金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 退任慰労金積立特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 繰入金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 決済金積立特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 他目的使用特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 維持管理・災害復旧積立金特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 積立金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

平成24年度 農業体質強化基盤整備促進事業特別会計収支予算書

【収入の部】 (単位：千円) 【支出の部】

Table with 8 columns: 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減), 款項目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較 (増, 減). Rows include 補助金, 繰越金, 雑収入, and 収入合計 for both income and expenditure.

※収入、支出差引残金なし。

本土地改良区が設立50周年を迎えました

本土地改良区は、昭和37年3月17日秋田県知事の設立認可を受け8土地改良区が新たに合併し誕生しました。先人の偉業と歴史を引き継ぎ設立50周年を迎えられましたことは、この上ない喜びであり誇りに感じるものであります。これも組合員の皆様方のご理解とご協力の賜物と存じ上げます。

平成24年2月17日に本土地改良区設立50周年記念式典を県、町、土地連、関係機関のご臨席のもと挙行いたしました。当日は、理事長の式辞、事務局長の経過報告、元理事長等への表彰状贈呈、仙北地域振興局長をはじめ来賓の方々から祝辞を頂きました。



モミガラ補助暗渠単独施工型(県単事業)について

平成23年度から戦略作物高品質・高収量実現排水対策支援事業が実施されており当改良区管内では、この支援事業のうちモミガラ補助暗渠単独施工型を八幡殿、三井寺、厨川、小荒川の地域で昨年度実施しております。この事業は今年、来年も実施されますので興味のある方は土地改良区までご連絡ください。詳しい内容は次ページをご覧ください。



基金事業の紹介

戦略作物高品質・高収量実現排水対策支援事業

モミガラ補助暗渠単独施工型(県単事業)

内容：農家等が行うモミガラ補助暗渠施工に一定の助成を行います。

対象区域は

【対象区域】 区画整理済みで本暗渠が施工されている区域が対象です。
【実施主体】 農業者、農業生産法人等

要件は

- ◆戦略作物や地域特産物等の作付が確実であること、ただし主食用米、加工米、新規需要米は対象外となります。
- ◆面積要件や団地用件は特にありません。

助成額は

■助成額(標準型)

- ◆業者等に作業委託契約する場合

作業委託契約額の2/3を助成しますが、**17,000円**/10aを上限とします。

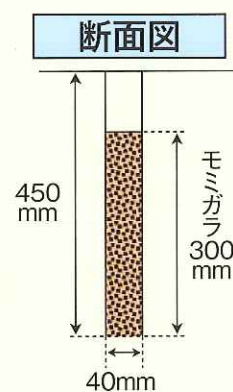
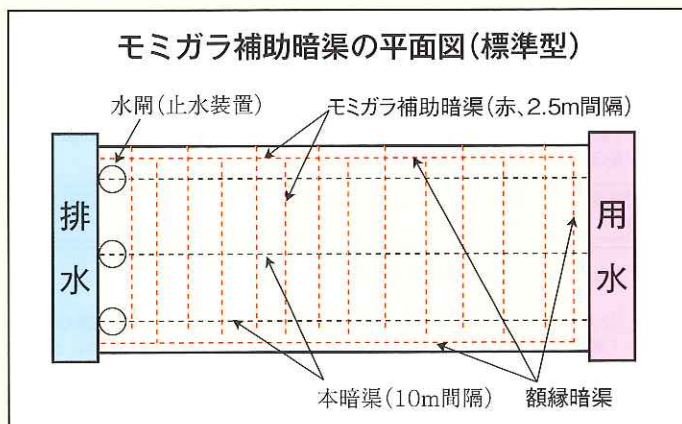
- ◆農業生産法人、農家等が直営施工する場合

13,000円/10aを定額助成します。

※標準型以外の場合は、施工延長に応じ助成します。ただし上限があります。

モミガラ補助暗渠とは

本暗渠の直角方向に幅4cm、深さ45cm程度の溝を2.5m間隔程度で作り、モミガラを入れます。これにより、水田の水はけが飛躍的に向上します。



新規事業のお知らせ

農業体質強化基盤整備促進事業の創設

<背景・課題>

- 「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」(平成23年10月決定)では、**農地集積の加速化や農業の高付加価値化等によって、我が国農業の体質を強化**することを目指して
- このためには、**農業者が経営規模の拡大や農作物の高付加価値化・品質向上等に取り組む上で支障となる農地の区画狭小・排水不良や農業用水の不足等の農業生産基盤の課題について、迅速かつきめ細かく対応**していく必要がある。

<農業体質強化基盤整備促進事業の創設>

1. 事業内容

(1) きめ細かな基盤整備による農業の体質強化

農地・農業水利施設の整備をきめ細かく実施し、経営規模の拡大や戦略作物・地域振興作物の生産を促進(農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、区画整理、農作業道等：**補助率1/2等**)

(2) 整備済み農地の高度利用を迅速・安価に推進するための定額助成の導入

自力施工等による**農地区画の拡大や暗渠管設置**といった**簡易な農地整備**を**定額助成**によって促進

- ・ 畦畔除去、均平作業等による区画拡大：10万円/10a (水路の管路化を伴う場合は20万円/10a)
- ・ 標準的な暗渠排水(本暗渠管の間隔10m以下)：15万円/10a **秋田県では不対応**
(但し、用排水の整備・布設替えをした場合は該当)

2. 事業実施主体

都道府県、市町村、農業者団体(土地改良区、農業協同組合等)

※1(2)の事業(定額助成による簡易な農地整備)は、事業実施主体は、助成金を農業者に交付して施工させることができる。(事業実施主体は、施工前後の状態を確認する。)

今後、県営ほ場整備事業等の計画がある場合は要注意 !!

事業種類一覧

区分	事業種類	事業内容	補助率・助成単価
1. 定率助成	(1) 農業用排水施設	農業用排水(防除用水を含む。)施設の新施設設、廃止又は変更	(1) 事業費の1/2 (2) 北海道の畑地帯、沖縄県、奄美群島、離島、特別豪雪地帯、振興山村、半島振興対策実施地域、過疎地域、特定農山村地域又は急傾斜畑地帯においては、(1)の規定に関わらず本表の欄外に記載するとおりとする。
	(2) 暗渠排水	暗渠の新設又は変更	
	(3) 土層改良	客土、混層耕、除礫、心土破碎及び土壌改良	
	(4) 区画整理	農用地の区画形質の変更	
	(5) 農作業道	農作業道の変更	
	(6) 農用地の保全	(1)~(5)以外の農用地の改良又は保全のために必要な事業	
2. 定額助成	(1) 区画拡大(水路の変更を伴わないもの)	畦畔除去、均平作業等による区画拡大	10万円/10a
	(2) 区画拡大(水路の変更を伴うもの)	水路の変更(管路化等)を伴って行う畦畔除去、均平作業等による区画拡大	20万円/10a
	(3) 暗渠排水	吸水渠(本暗渠管)の間隔が10m以下の暗渠排水の新設	15万円/10a

区画拡大と暗渠排水の同時施工も可能

- ① 北海道の畑地帯において北海道が事業実施主体となつて行うものにあつては、事業費の52%
- ② 沖縄県において行うものにあつては、事業費の80%
- ③ 奄美群島(奄美群島振興特別措置法(昭和29年法律第189号)に基づく指定地域をいう。)において行うものにあつては、事業費の60%。ただし、鹿児島県が事業実施主体となつて行うものうち、水田地帯において農業用排水施設の整備を行うものにあつては、事業費の65%、畑地帯において行うものにあつては、事業費の2/3
- ④ 離島振興法(昭和28年法律第72号)第2条第1項の規定に基づき離島振興対策実施地域として指定された離島、豪雪地帯対策特別措置法(昭和37年法律第73号)第2条第2項の規定に基づき指定された地域、山村振興法(昭和40年法律第64号)第7条第1項の規定に基づき指定された地域、半島振興法(昭和60年法律第63号)第2条第1項の規定に基づき指定された地域、過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)第2条第1項に規定する過疎地域(同法第33条第1項又は第2項の規定により過疎地域とみなされる区域を含む。)、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律(平成5年法律第72号)第2条第1項に規定する特定農山村地域又は急傾斜地帯(旧急傾斜地帯農業振興臨時措置法(昭和27年法律第135号)第3条の規定に基づき指定された地域又は受益地域内の平均傾斜度が15度以上の地域(水田地帯を除く。))において行うものにあつては、事業費の55%

事業の仕組み

農業体質強化基盤整備促進事業 (平成23年度第4次補正予算にて創設)	
対象地域	戦略作物又は地域振興作物を生産する地域 定額と定率では取扱いが違う。 (国：主食用米を含む 県：主食用米を含まない)
作成計画	整備計画(土地利用型生物の場合は農地主利用集積の方針を含む。)
地区設定	・同じ用水系統又は閉じ排水系統にある水利施設の受益範囲 ・ブロックローテーションの取組範囲 ・市町村の定める農業振興整備計画の範囲 ・都道府県の定める農業振興地域整備基本方針の地域区分の範囲等
規模要件	事業費200万円以上/地区、受益者数2人以上/地区 (定率の場合のみ) 定額の場合は拡大後の面積が30a以上
対象工種	農業用排水施設・暗渠排水・土層改良・区画整理・農企業道・農用地の保全
事業実施主体	都道府県、市町村、農業者団体(土地改良区・農協等)
補助率	1/2等、定額
事業実施期間	平成23~25年度
補助金交付ルート	国→都道府県 国→団体(市町村、農業者等団体) 国→都道府県→団体(同上)
地財措置	(4次補正) 補正予算債 (24当初) 都道府県：公共事業等債 市町村：一般補助施設整備等事業債

(定率の場合は県の基金事業となるため、主食用米は該当しない)

定額助成のねらい

- 農地整備のうち簡易な施工内容のものは、農業者自らが主体となって迅速に実施することが効率的
- 自力施工等の農業者全体の取組を定額で助成し、簡易な施工による区画拡大や暗渠整備を促進

< 簡易な農地整備のイメージ >

必須項目

- 区画拡大
畦畔除去→表土切盛(均平)→畦畔築立→土壤改良資材散布→深耕→雑物除去→整地・耕起
- 暗渠排水
掘削→水甲・暗渠管布設→疎水材投入→埋戻し→補助暗渠工→整地・耕起

< 定額助成のポイント >

- 助成単価は、事業費単価の下位値の1/2で設定
- 【区画拡大】
 - 田面差が30cm程度までの事業費単価は20~30万円/10a程度
 - 定額の助成単価は10万円/10aに設定(=単価帯の下位値20万円×50%)
- 【暗渠排水】
 - 標準的な設計(10mピッチ程度)の事業費単価は30~40万円/10a程度
 - 定額の助成単価は15万円/10aに設定(=単価帯の下位値30万円×50%)
- 現場における自力施工等の創意工夫を喚起
 - 自力施工と外注の組合せ等、農業者は、自らの労力負担によって費用負担を抑制可能
 - 農業者の取組みを促進



区画拡大や汎用化を迅速・安価に推進

*平成24年7月2日~31日まで募集をします。詳しくは改良区までお問い合わせ下さい。
*ただし、予算に限りがありますので予めご了承下さい。

私たち水土里ネット秋田は、農業水利施設の

「ゴミゼロ」対策に取り組んでいます。

食の安全・安心はきれいな水から

ゴミの問題は、短期間での解決は難しく「ゴミがゴミを呼ぶ」環境の改善や捨てる側の「秩序性」への意識改革を図ることが必要であり、多くの時間と多様な団体との連携による地道な運動を継続していくことが大切であります。

年次計画

すぐできること、少し考えながらできること、時間をかけてやることを踏まえ、短期計画(初年度H22)、中期計画(H23～H25)、長期計画(H26～H31)となっています。

- 短期計画: ○農業水利施設におけるゴミ発生状況の調査・観察
○モデル地区を設定し、ゴミの分別・発生原因の特定
○水土里ネットのゴミ処理業者調査
- 中期計画: ○長期計画の実践を基に活動範囲の拡大
- 長期計画: ○水質の向上と河川ゴミの問題も含め、「ゴミ対策推進ネットワーク」の構築
○水土里ネットが管理する灌漑施設後のゴミ問題について、農林漁業として認識(他)両業の連携体制を構築する



県内土地改良区にアンケート調査を実施

農業水利施設から浮遊ゴミ対策についての調査結果(抜粋)

浮遊ゴミの種類は何ですか？(複数回答)



- 農業用ニール肥料
- 河草
- 河泥
- 草刈り残
- 農薬容器
- ペットボトル
- 空き缶
- プラスチック
- 紙類
- その他
- 不明

浮遊ゴミ等の発生原因をどう考えますか？(複数回答)



- 社会規範の低下
- 農地の荒廃
- 灌漑施設の老朽
- 農家の意識
- 経理の不備
- 社会規範の低下
- 農家の意識
- 灌漑施設の老朽
- 経理の不備
- その他

水土里ネット秋田

農業用水路へのゴミ投棄が見受けられます。ゴミの種類としては、空き缶やペットボトル、農業用資材、草刈り後の刈草が多いようです。こうしたゴミは、水質汚染、ゴミ詰まりでの溢水被害、施設の破損などに繋がりますので止めましょう。

農業水利施設を大切に

毎年開催しております、美郷町内の小学生を対象とした水環境学習会が今年も八月に開催する予定となっております。詳しい日程等につきましてはホームページ等でお知らせいたしますのでご参加ください。

水環境学習会が開催されます

お知らせ欄

土地改良区への届出が必要です

1. 土地移動届け

農地の売買、賃貸借の設定(利用権を含む)又は解約、経営移譲、相続、譲与する場合、転用等による地区除外

2. 土地改良施設の他目的使用

土地改良施設(用、排水路及びその敷地を含む)を使用する場合は、土地改良区の承認が必要です。特に、単独及び合併浄化槽の設置に伴って、処理排水を土地改良区が管理する水路に排水する場合は必ず届けてください。

賦課金の納入にご協力下さい。

今年度の賦課金の納入期日は次の通りです。

◆ 経常賦課金
平成24年7月2日～7月31日

◆ 償還賦課金
平成24年10月1日～10月31日

納入についてご相談のある方は土地改良区までご一報ください。

農地・水保全管理支払交付金について

平成19年度から5年間実施されてきました農地・水保全管理支払交付金が平成24年度からも継続されることとなりました。千畑地区につきましては全集落を一つの組織とし「美郷町千畑地域農地・水環境保全組織」として活動していくこととなっております。今後も農地・水の活動にご参加くださるようお願い申し上げます。

